

「みずかがみ」タイムリーな情報発信で 高品質・良食味米を達成

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

本県育成新品種「みずかがみ」は、今年度から本格的な栽培が始まり、湖北地域では23名14.3haで栽培されました。優良な品種特性を生かした高品質・良食味米が生産されるようタイムリーな栽培技術支援を行い、さらに次年度作付面積拡大につなげました。

【普及活動の内容】

生産者に農作業適期をタイムリーに伝達するため、「みずかがみ」について、4か所設置する生育調査ほ場で詳細なデータを収集するとともに、全てのほ場を巡回し、広域での生育状況も把握しました。

得られた結果を活用し、管内生産者に「みずかがみ情報」を計6回発信しました。また、現地研修会を、穂肥直前の6月と収穫直前の8月の2回開催しました。調査地点の生育推移に基づいて、穂肥、病虫害防除および適期収穫など、高品質・良食味米生産には欠かせない農作業を適期に行えるよう情報伝達を行いました。

10月、2月、3月には、座学の研修会を開催し、今年度の生育概要と収量・品質結果を報告し、次年度の栽培面積増につなげました。

【普及活動の成果】

これらのタイムリーな技術支援の結果、湖北管内の一等米比率は他の品種の値を上回る約82%となり、平均収量も512kg/10a確保でき、満足できる結果が得られました。

生産者へのアンケートにおいて「初めて作付した品種でしたが、収量、品質もよく、来年度作付面積を増やしたい」と回答されたように、次年度以降の取組について、関係機関や私たち普及指導員も手ごたえを感じています。次年度、湖北の作付面積は6倍に拡大し、約85haで作付されます。高品質・良食味「みずかがみ」栽培技術支援を通して、平成27年度にはさらに倍増の170haを目標に、引き続き作付面積拡大を推進していきます。

